

3 分野別意見等一覧  
 (安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
1	・3月11日の震災時、孫娘からの「逃げろ」と一言書いたメールによって避難を決断した。防災無線だけでは、もしかしたら海を見に行ったかもしれない。防災無線はマニュアル通りの単調な案内で、危機感がもてない。今回のような大震災の時は、「逃げろ」の一言で良いので、もう少し危機感を持たせるアナウンスをしたほうが、避難する住民が増え、被害者も減ったと思う。	・防災無線については、冷静に聞こえるのは、気持ちをせかさないととの配慮もあってのこと。今後については、今のご意見を参考にさせていただきたい。	重茂漁協	安全な地域づくり	
2	・24分団の屯所の用地もほしいなと思っているが、津波で流された。以前は無償でということであったが、土地を買い上げてやるということであれば何とかできるのではないかとも思う。無償ではなく、買い上げてもらいたい。	・現在、屯所用地の取得は買い上げにより行っている。	重茂漁協	安全な地域づくり	
3	・同じところに住むことを前提に、国のほうに、堤防を高く、7～8キロ先まで長く作るように要望をして欲しい。津軽石川の流れに沿って津波を流すような形にすべきである。	・ご指摘の方法は津波の被害を抑える際の、ひとつの考え方だと思う。津波防災専門の先生もアドバイザーとしてお迎えしているので、ご意見を聞きながら検討したい。	赤前小学校	安全な地域づくり	
4	・今の水門の所に三陸津波、チリ地震津波がここまで来たという看板があったが、今回はその看板より明らかに高い位置に津波が来た。だから、もうちょっと堤防を高くできないかと思っている。国のほうに働きかけてもらいたい。	・防潮堤などの高さをどれくらいにするかということは、国・県の専門部会でも議論されている。今回の津波を受けた中での議論を見ると、構造物ですべてを防ぐことは無理だという流れである。県のほうで検討しているのは、一定の確率で算定した高さに設定し、それを超えた場合は別の方法で防ぐような多重防災型の案を考えている。今後、国や県の考えを踏まえながら市のほうでも検討していきたい。	赤前小学校	安全な地域づくり	
5	・津軽石川の水門は良くない。なぜ、川の兩岸を高くせずに川を堰き止めたのか。閉伊川の上流で被害がなかったのは、川が広くて津波が逃げたからである。あのような水門にお金をかけてどうするのか。腹が立つ。津波を逃がす方法を考えるべきである。		赤前小学校	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
 (安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
6	・今回の津波は防波堤を乗り越え、自分の家でも畳の上まで水が上がった。あと3m堤防が高ければ無事に済んだと言われている。あと5mくらい土盛りしてでもよいので防げるような形にして欲しい。		赤前小学校	安全な地域づくり	
7	・2回目の防災無線が聞こえなかった。電源が切れた場合は、担当の人がサイレンを鳴らして来てくれればわかる。		赤前小学校	安全な地域づくり	
8	・堤防を高くするのもいいが、沖のほうが見えるような状況とすることを考えていただきたい。また、津波が来たときに、1箇所か2箇所は、波を逃がすような構造を考えていただきたい。今回は逃げ場を造らなかったために、非常に大きな災害を受けた。ちょっと沖の地域は、沖からの跳ね返りで大きな波になった。火災がなかったことについては幸いだったが、力を逃がす防災を考えて欲しい。・復興に向けた具体的な内容を早く提示していただきたいと思う。	・参考にさせていただき、なるべく早く対応したい。	赤前小学校	安全な地域づくり	
9	・赤前地区は、海拔0地帯で、工業高校までそうである。だから、波を逃がす工夫をして欲しい。そういう案をつくりながら、これからの赤前の都市計画を提示していただきたい。様々な専門分野の先生をお招きして、いろいろ教えてくれると思うが、赤前の方向を見ながら考えていただきたいと思っている。		赤前小学校	安全な地域づくり	
10	・赤前は、野球場や陸上競技場を核として、これからいい街になっていくという矢先だった。津波を逃がす方法を工夫しながらも、この赤前をよい地域にできるような案を考えていただきたいと思う。		赤前小学校	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
(安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
11	・津波対策のイメージのところで、市としてはどうしているか知りたい。例えば回避型にした場合、みんな家を高所に移転しなければいけないと思うが、新しく移転する土地を自分で準備しなければいけないのか。市が提供してくれるのか。	<p>・一番目の質問について、説明したものは県のパターンであり、市としてはみなさんからのご意見をいただきながら決定していきたい。また、赤前地区の懇談会の中で、湾内を防潮堤とか水門で囲んだは良いが、それを超える大きな津波が襲ったという意見があり、そういうときに津波の力を逃すような防災もあるのではないかというお話もあった。津軽石川の両岸を越えないような仕組みは必要だが、上流に力を逃すような形にすべきという話があった。みなさんもそういう考えがあれば意見をいただきたいと思っている。</p> <p>・まずは、どの程度の人がその地区に住みたいかという数を把握しながら、計画を検討していきたい。今は集団で移転するという考え方を基本としているが、嵩上げという考え方もあるので、そういう複数のパターンをお持ちしてみなさんの意見を聞きたいと思っている。</p>	津軽石小学校	安全な地域づくり	
12	・先日、震度4～5の地震があった際、津波注意報が出され、海のほうに行くなど指示があったが、車両は通行していた。市の方では通行止めに出来ないのか。	・津波注意報について、海岸を近づかないようにという放送をしているが、道路を通行止めにするにはできないので、個々人に注意を促すしかない状況である。	津軽石小学校	安全な地域づくり	
13	・有線放送についてだが、津軽石には3箇所あり、音声がぶつかり合ってぜんぜん聞き取れないので、方向を変えるなど調整していただき、聞こえるようにしていただきたい。情報は大事である。	・聞き取れないということは早く解消するように調整していく。どういう向きでスピーカーを設置するか調整も難しいが、情報がちゃんと伝わるように調整して参りたい。	津軽石小学校	安全な地域づくり	
14	・防災意識の検証が必要ではないか。	・防災意識については、過去の津波について語り継いできたということもある。今回、想像もできない大津波の被害を蒙った。それを我々が語り継いでいくことが大事だと思う。防災教育という観点から取り組んでいきたいと考えている。	磯鶏小学校	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
(安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
15	・今回の津波は防潮堤を越えたから想定外との話であるがそれだけではすまない。10月までに復興計画を作ることであるが、国道を堤防の高さにしてはどうかと思っている。	・防潮堤については、一定の効果があったと思うし、調査・研究も進めている。避難行動の調査もし、防災意識を伝えていく必要があると考えている。 ・国道45号の嵩上げについては、市が計画にあげたところで、国がやるとは限らないので、国交省の意見も聞きながら進めていきたい。	磯鶏小学校	安全な地域づくり	
16	・防災計画を作っていくべきではないか。 ・国などに要望をあげるべきではないかと言っている。	・みなさんの意見を聞いて、いくつかのパターンを検討していくので、それを示しながら国などと協議を進めていきたいと思っている。	磯鶏小学校	安全な地域づくり	
17	・国道沿いの家を見ると、何事もなかったかのような感じに見受けられるが、中屋造船のところの防潮堤は破損しているし、閉伊川の護岸も古い。現在、もとの家を直して住んでいるが、そこを早く直して欲しい。	・決壊している防潮堤については、岩手県で応急復旧をしている。本格的な復旧については、専門家なども交え、今回の津波を踏まえながら検討しているところである。津波に耐えうる構造物とあったが、物理的にそういうものが造れるのか、可能なのかという議論をしているので、そういったなかで、一定の整備の方針を示すと思う。 もう少し高ければ、もしかしたら大丈夫なのではという思いもわかるが、県の方針を踏まえながら、どのくらいの高さが良いのかということも検討していきたい。	藤原小学校	安全な地域づくり	
18	・高台移転の話も出ているが、私は賛成できない。とりあえず藤原の土地を守ってもらうためにも、堤防を嵩上げて、大きい地震が来ても、それに耐えうるものにしてほしい。	・高台移転については、今回の津波を受けた中で、住むところを安全にするためには、当然高いところになる。そういうことも考えられるパターンで検討が進められている。しかし、現実には地域ごとで事情が違っているので、すべて高台移転というわけではなく地域ごとの意見を尊重しながら検討を進めていきたい。	藤原	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
 (安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
19	チリ地震津波の時、国からアンケートが来た。そのときに、いったい藤原の堤防は海面から何mの高さがあるのか聞きたくて書いたのだが、それに対して回答は得られなかった。藤原の堤防は、たとえば何mの津波が来るときに、安心できるのか、安心できないのか知りたい。		藤原小学校	安全な地域づくり	
20	・津波を100%防御は無理だと思うので、いかにして逃げるかが大事である。 藤原は、線路から山側、線路から国道、国道から海側の大きく3つの地区に分けられる。震災時、信号が停電してしまったために、国道を海側から山側に渡れないという状況だった。歩道橋はあるが、車椅子や足の悪い人は無理だと思うし、線路は堀になっており渡ることも難しい。若い男性がいれば何とかなるかもしれないが、逃げることすらできない状況である。車を通行止めにするのは無理だとしても、バリアフリーの歩道橋が3箇所くらいあれば、迅速に逃げることはできるのではないかと。あとは、線路の上へ上がるための道が必要である。車いすを上げるには4人の力が必要である。線路の場合はJRとの兼ね合いもあると思うが、スロープにするなど、早く逃げられるように配慮をしていただきたいと思う。	・確かに津波は構造物だけで防げるものではないと思う。どんなものをつくっても、それを越える可能性はある。わかりやすい避難路などを考えていかななくてはいけないと思う。検討させていただきたい。	藤原小学校	安全な地域づくり	
21	・線路を越えられても、避難場所は神社になり、用地が狭く、かなりぎゅうぎゅう詰め状態であった。藤原小学校は校舎が低く、入口が狭い。なかなか逃げ道がない状況である。せめて道路の舗装がなされていればと思う。砂利道だったりしている。	・確かにハード面の整備のほかに、ご指摘のとおり避難方法をどうするかというのは大事だと思う。今後、そういったお話をもとに、避難ルートを見直す必要も出てくると思う。 今の場所に住み続けたいというお気持ちであると受け取った。国道が渡れないという状況も踏まえて、国道から海側に一時避難ビルのようなものを考える必要もあるのかもしれない。	藤原小学校	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
 (安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
22	<p>・85歳の母が、平成6年に亡くなったが、平成5年は地震が多い時期で、弱っている母を車椅子で押して逃げた。太い紐でおんぶして、あがったこともある。そのときに、年寄りの人たちを避難させるのが大変だと思った。消防の係の方に、藤原は避難するには不便で、学校も安全というわけじゃなく、逃げるところがないと電話したが、何もされていない。藤原小学校はぜんぜん安全じゃない。神社だって安全じゃない。絶対に安全な場所と、道路を造って欲しい。</p>	<p>・藤原小学校は、確かに水が来ていて、避難所として適当かどうか。これから見直しが必要かと思う。</p>	藤原小学校	安全な地域づくり	
23	<p>・私は被災していないが、藤原に住みたいと思っている人が多いと思う。力がある人は別の場所に移ると思うが、ほとんどの人がここに居たいのではないと思う。避難場所にしても、4分団の屯所、公害センター、学校の視聴覚室などを使わせてもらっているが、他の地域には公民館があるのに、この地域には公民館がない。何かをするときには公民館というところは、避難所にもなることが多い。新たに考えて欲しいと思う。藤原小学校も閉校になると聞いているので、その再利用とか、新たに何かをつくる際には、災害に備えた丈夫なものにして欲しい。</p>		藤原小学校	安全な地域づくり	
24	<p>・10年くらい前、国土交通省の主催の会に集まった際「藤の川の坂の途中から堤防と同程度の高さに道路を嵩上げする津波対策ができないか」と提言した。金浜の水門が完成したが、流されたし、津波のルートにしても、「津軽石の大きな水門で跳ね返る。」という話もしたが聞き入れてくれなかった。                  ・今回の津波の際も、藤の川の道路を通行止めにしなかったことにより、たくさん犠牲者が出た。高浜から八木沢にトンネルを作ることとか、何回も話しをしているが実現していない。</p>	<p>・藤の川から、次の交差点まで防波堤がない点についてだが、今年度から県で調査整備する予定であった。その矢先、津波がきてしまった。今回のことを踏まえて県に要望していきたい。                  ・高浜からの避難道路については、地域のプランの中で、詰めていければと考える。</p>	高浜小学校	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
 (安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
25	・水門をつくるには、それによる波の変化などをシミュレーションして欲しい。	・水門がなかった場合のシミュレーションについても県に作成を依頼したい。	高浜小学校	安全な地域づくり	
26	・水門が手動だと、消防団は海に閉めに行かなくてはならない。そのために多くの消防団が命をなくしたと報道で聞いている。ぜひ手動ではなく自動の水門を検討していただきたい。	・水門に自動閉鎖については、県でも検討するということがあった。 ・水門閉鎖について、現行のマニュアルでは、津波が迫ってくる場合を想定していて、最後までいるということはもちろんなく、ある時点で離れるというマニュアル。徹底させる	高浜小学校	安全な地域づくり	
27	・堤防は、波の力を逃がすような形で検討してほしい。	・田老においては、昭和8年の津波のときは、海に向かって扇形で波を逃がす形で防潮堤がつくられ、35年のチリ地震後、それを強化する形で2つ防潮堤が造られた。これが本当に良かったかどうかも含めて検証し、津波の勢いを逃すことは大事であり、検討していく必要がある。	高浜小学校	安全な地域づくり	
28	・今回の津波で、高浜地区は堤防がないところから水が入り、瓦礫等が家を壊していった。ぜひあそこに堤防を作してほしい。	・地区ごとの方向性など、今回のプランの中で計画しながら、県にも強く要望していきたい。	高浜小学校	安全な地域づくり	
29	・こちらからお尋ねするが、堤防が切れているところがつながった場合「住み続けたいか、そうなったとしても、どこか高台に行きたいのか。」その辺りはどうか。	・やはり住み慣れたところに住みたいと思う。堤防があったら、被害はここまで大きくならなかったと思う。	高浜小学校	安全な地域づくり	
30	・堤防がつながっていれば、もう少し被害を防げたのではないかと思うし、チリ地震の時は赤前の波が返しになって戻ってきた。今回も同じで、それにより大きく被害を受けたと感じている。		高浜小学校	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
 (安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
31	・11日の地震のとき、高浜小学校に避難した。その時に、子どもたちは校庭に待機していた。消防団の「逃げる。」の一言で、全員の命が助かったが、私たちも逃げるので精一杯だった。安全な避難路を作るべきだ。	・3月11日の津波にて、沿岸の学校は、従来の避難路をつかったが、高浜小学校もそういう対応をしたと思う。しかし、津波が来たあとで、町の様子も、障害物や建物が無くなったり、状況が変わっている。教育委員会へは、避難路の見なおしを指示している。	高浜小学校	安全な地域づくり	
32	・私も3月11日は高浜小学校に子供と一緒に逃げた。そのとき、赤ちゃんをつれて逃げたお母さんがいたが、車椅子や足の悪い人はとても逃げられないと感じた。どんな人でも簡単に逃げられる避難路をつくってほしい。	・赤ちゃんを連れた親御さんや、車椅子の方々が、最低でも簡単に逃げられるような道路という提言があったが、小学校の周辺で、もっと高い場所に簡単に避難できるかどうか、地元の話も伺いながら、避難路の整備など考えていきたい。	高浜小学校	安全な地域づくり	
33	・温泉施設付近の防波堤が壊れている。新しく造るといふより、修理を早くしてほしい。 ・高浜は防波堤が途中までで切れている。歩道を整備したが、先に防波堤を作る必要があったのに6年も放っておいた。	・応急復旧は行うと聞いているが確認する。歩道関係は、県の事業であり、詳細は把握していない。	高浜小学校	安全な地域づくり	
34	・45号線は海に面していて、警報が出れば通行止めとなる。津波を避けて通行できるよう、山を越えるような避難道路があれば、避難或いは支援もできる。また、山側にも一本道路を造って、病院や救援が可能な場所をつくってくれば助かる。	・道路の状況がどのような状況で、藤の川に抜ける道路の幅員をどうするかは検討の必要がある。 ・避難路については、担当課の人間を集めて、内部検討したいと思う。	高浜小学校	安全な地域づくり	
35	・明治29年の津波を参考にするという話であるが、今回はそれを越えている。なぜ、明治29年かという疑問がある。金浜の堤防が決壊した理由について究明しながら対策を練っているのか。	・決壊の理由については、県の専門部会での検証結果等わかり次第お伝えしていきたい。 ・過去2番目を想定する理由について、今回の高さで想定すると、20~30mの高さを想定しないとならない。その対策には膨大な費用が必要となり、また整備期間が数十年を要することとなる。	高浜小学校	安全な地域づくり	



3 分野別意見等一覧  
(安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント（回答）	会場名	意見区分	備考
36	・八木沢から金浜にくる道路だが、45号線に抜ける際に小学校わきを通すという話もあるが、この道路を造る時に、山を通ることになると思うが、併せて、宅地を造成できないか。堤防の高さも嵩上げをするなど、45号線も堤防と同じ高さにすれば、2重の防御になると思う。		高浜小学校	すまいと暮らしの再建	
37	・金浜は線路と宮古道路で抜け道がない。津波が来た時にどういう避難をするかという検討もして欲しい。		高浜小学校	安全な地域づくり	
38	・田老の海岸線の地盤沈下は何cmか。	・今、国の調査でやっているのですが、まだ確定したデータというのは示されていない。国土地理院が被災後すぐに発表した数値では宮古では40cm～50cmくらいという速報があった。	田老コミセン	安全な地域づくり	
39	・津波防災の分類で、3つの形を示しているが、中身を見ると、回避型が理想的で良いと思う。回避型以外は、被害を受ける覚悟をしろということだと解釈している。私個人としては、高台移転して、回避型にさせていただきたいが、それぞれ漁業をやっている方や、海に近い方がいいという人もいられるかもしれないが、やはり生命と財産は守る方向でまちづくりをするべきである。 ・田老で高台移転の可能性があると考えているのか。難しくてもやはり、田老地区は高台移転でぜひやってほしいという希望をもっている。	・高台移転がいいということであればそういう方向で進みたいし、組み合わせた形にするのか、皆さんの意見を聞きながら、可能かどうか調べる上で進めていきたい。	田老コミセン	安全な地域づくり	
40	・摂待の場合、水門が全部なくなって、同じ程度の津波が来た場合、これ以上の被害が出る。水門の復旧についての、県の方針などはまだたっていないのか。	・現実的に復旧にどのくらいの時間がかかるとか、県で調査をやっているところである。	田老コミセン	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
(安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
41	・田老町は防災の町と宣言し、海外から視察を招いたりしていたが、今回大きい被害を受けた。それを踏まえ、今度こそ日本一の防災の町をつくっていただきたい。	・防災の町としての田老のイメージが崩れたということは、田老に生まれたものとしても無念である。構造物だけで津波を防ぐというのは無理だという反省を考慮しながら今後のまちづくりをしていきたい。	グリーンピア	安全な地域づくり	
42	・田老について、防波堤の内側を嵩上げる予算と、高台を整備する予算はどの程度か。	・高台移転や嵩上げについては、事業費についてもシミュレーションすることになっているので、大体のイメージができた段階でお示ししたい。	グリーンピア	安全な地域づくり	
43	・今回の地震の時に、サイレンが聞こえた人が少ない。田老地区はあったのか。行政が麻痺して、事務所と連絡が取れないなど、機能がうまく働かなかった。防災都市としての基本に帰ってしっかりやってほしい。 ・屋根のある避難所。暖の取れる避難所をお願いしたい。	・災害対応については、もう一度見直してしっかりやっていきたい。	グリーンピア	安全な地域づくり	
44	・田老では、過去に避難道をつくる計画があったが実施されなかった。もし、計画通りやっていれば、今回の犠牲者の何パーセントが助かっている。今回はぜひ参考にしてほしい。		グリーンピア	安全な地域づくり	
45	・防災無線の整備だけはお願いしたい。各仮設住宅に入っていない。	・修理の工事発注はしている。仮設住宅については確認して、要望があったことは伝える。 ・仮設住宅の中に防災無線をつくることになっているので、もうしばらくお待ちいただきたい。	グリーンピア	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
(安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント（回答）	会場名	意見区分	備考
46	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関して、もし防潮堤を必要とするのであれば、水門などは減らしてほしい。もし水門をつくるなら遠隔操作で開閉するような形でやってほしい。</li> <li>・車も財産なので、車で逃げられるようなスロープをつくってほしい。</li> <li>・今回、これだけの災害で交通規制をしなかったのはなぜなのか。</li> <li>・防潮堤の中で作業している人は、外の様子がわからないので、外の様子がわかるようにしてほしい。</li> <li>・仮設住宅では防災無線がほとんど聞こえない。そこも早急に改善してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防潮堤等については県の管理で、現在県が調査をしている。防潮堤や水門の整備に関しては、県に要望を上げつつやっていきたい。水門の数を減らすなどの具体的な方針についても、プランの中で検討させていただきたい。</li> </ul>	グリーンピア	安全な地域づくり	
47	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商売をやっていたので、もとの場所に戻りたいと思い仮設住宅のテントで頑張っている。大きな防波堤をつくっていただき、元の場所に住めるようにしていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高台移転か、現地再建かについては検討していきたい。</li> </ul>	グリーンピア	すまいと暮らしの再建	
48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波に流されて防災無線がないので、早急にやってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線については、補修工事を発注しているので、もう少しお待ちいただきたい。</li> </ul>	崎山小学校	安全な地域づくり	
49	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団の各分団の方々、今回の津波で20数名が亡くなっている。私の義理の弟も亡くなった。大きな津波の時には水門閉めるのを見合わせるなどの対応をお願いしたい。無理をしたことによって亡くなった方が多数いるので、絶対に無理をさせてはならない。</li> </ul>		崎山小学校	安全な地域づくり	
50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月9日にも、津波速報があり、宮古が30cm、大船渡が1mで、避難した人はだまされたような感覚だったかもしれないが、今回のような大きい津波、地震の場合にどうしたらいいか、徹底した避難行動の教育、津波教育が必要である。</li> </ul>		崎山小学校	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
 (安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
51	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画策定以前にできるものはやってもらいたい。例えば、地盤沈下した部分の嵩上げや、防波堤の工事、テトラポットの配置などを早急にするべきではないか。</li> <li>防潮堤や地盤の嵩上げのほかに、道路兼用の湾口防波堤を考えるべきではないか。竜神崎から、重茂の鮎ヶ崎まで、湾口防波堤ができればよい。</li> <li>そのほかの地区は山に逃げるしかない。</li> </ul>		崎山小学校	安全な地域づくり	
52	<ul style="list-style-type: none"> <li>何度も防波堤を造るということを検討していたが、防波堤ができる前に震災にあってしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりに関しては、これまでの話を参考にしていきたい。</li> </ul>	鉾ヶ崎小学校	安全な地域づくり	
53	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉾ヶ崎には街灯も無線もない。今すぐできる防災対策をしてほしい。外からの人で、一方通行を逆走する人もいる。残った人たちのことも考えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災無線については、いま復旧工事に入る。街灯についても、順次復旧していくが、市内で2000以上やられてしまったので、順番の整備になる。道路標識についてはその通りだと思うので点検を進めていきたい。</li> </ul>	鉾ヶ崎小学校	安全な地域づくり	
54	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉾ヶ崎をどのようにしてほしいかといわれると、元通りにしてほしい。20mでもいいから防潮堤をつくっていただきたい。皆さんが元の場所に住めるように、嵩上げもしていただきたい。津波に対するモデル的なまちづくりなど、あらゆる手で鉾ヶ崎を再生していただきたい。</li> </ul>		鉾ヶ崎小学校	安全な地域づくり	
55	<ul style="list-style-type: none"> <li>津軽石の水門。あれを建てるときに、私は反対したが、護岸工事をちゃんとやって、波を逃がせばよかったのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津軽石の水門に関しては、賛否両論ある。その点についても、しっかり検証しなければならない。今の時点では調査結果が出ていないので、なんともいえない。</li> </ul>	鉾ヶ崎小学校	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
(安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント（回答）	会場名	意見区分	備考
56	<p>・堤防をつくれれば外見がわるいというが、外見より命じゃないか。防波堤を造って、大きな観光道路をつくって、商業都市にして、住宅はちょっと高台に行くなど考えられないか。</p> <p>・鍬ヶ崎の道路を迷路ではなく、遠くまで見えるように、この際だからちゃんとしてほしい。</p>		鍬ヶ崎小学校	安全な地域づくり	
57	<p>・私は、過去に閉伊川に水門をつくる検討をした時の委員だったが、当時、閉伊川に8mの水門をつくるという案がでて、私は反対した。護岸を整備する場合、千徳あたりまでつくる必要があり300億かかる、水門なら100億でできるという県の説明があった。今回の津波をみていると、あそこに水門があったら、藤原地区や築地は全滅したのではないか。</p> <p>・田老の例を見ると、水門がX型になっていて、田代川などに逃がすような構造になっていなかったから、甚大な被害がでた。</p>	<p>・人の力を超えるような自然の力はあるので、まともにぶつかるだけではだめ。その辺も考慮しながら対策を考えていきたい。</p>	総合体育館	安全な地域づくり	
58	<p>・津波防災の分類について、このあたりの地形をみると、単純に考えて45号線を高くすればいいのではないかと。そういった方針等については、早く決めていただきたい。</p>	<p>・45号線の嵩上げについても、ひとつの案だが45号線へのアクセスや、宅地の土盛りの必要性、土盛りする土をどこからもってくるかなど考えるべき点はある。複数のパターンを検討するなかでの参考にさせていただきたい。</p>	総合体育館	安全な地域づくり	
59	<p>・津波ということにとらわれず、災害という視点で対策をして欲しい。これからの台風や大雨洪水など、年中可能性がある。</p> <p>・閉伊川から山口川に入る河口の部分に、山口小学校より少し高いような水門をつくり、閉伊川から逆流した水を防げるようにすれば良いと。</p>	<p>・今のご意見については、岩手県の方とも相談して検討していきたい。</p>	総合体育館	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
 (安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
60	・今回の津波の高さを防御するくらいの堤防をつくっていただきたい。市には、早く計画を出していただいて、ダイナミックな構想を出していただきたい。	・防潮堤については、どの程度の高さのものをつくっていくかなど県と協議しながら検討していきたい。	愛宕小学校	安全な地域づくり	
61	・震災当時、愛宕小学校の校庭から愛宕神社に逃げて、そこから川を見ていたが、波は岸壁にぶつかってから閉伊川へ流れてきた。今回は、沖の方に何か波を防ぐようなものをつくってもらえないか。検討してほしい。	・防潮堤などについては、県の津波の専門委員会などの動向も注視していきたい。	愛宕小学校	安全な地域づくり	
62	・以前ハザードマップをつくったが、避難訓練も良いが、仮設の住宅をどこに建てるのか、そこまでも確保してほしい。・運動場やサッカー場などを確保しておいて、普段は運動をさせて、いざとなったら仮設住宅を作るスペースとして活用するなど検討してほしい。	・スポーツ施設を仮設用地にという発想を持ちながら復興計画の策定に取り組んでまいりたい。	愛宕小学校	安全な地域づくり	
63	・まず、避難計画を策定して、地域住民ともども、戦略を練るべきではないかと思う。 ・私は1分団。ポンプ車の避難命令が出なければ助からなかった。	・避難計画について、これまでの計画を見直して行きたい。	宮古市役所	安全な地域づくり	
64	・防災マップについて、宮古市は3度防災マップを作っている。今年の2月に県で防災マップを作るときに、私は反対した。そのお金を、各防災組織にお金を頂いたほうが良い。町内の方が一番良くわかっている。そういう人たちに援助をして、各地区でマップを作ればよい。役人が作っても、絵に書いた餅になる。	・そのあたりも考えながらまちづくりを進めたい。	宮古市役所	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
 (安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
65	・末広町、大通りは海のほうに向いているし、長町のバイパスも震災時通れなくなり、常安寺に逃げる道路しかなかった。宮古市消防署、警察にもお願いして規制を解除できないのかと言ったが、結論が出ていないままである。		宮古市役所	安全な地域づくり	
66	・防波堤か、あるいは高台移転の二者択一のような話しだったが、どちらも、あらゆる可能性を含めた考え方をすべき。		宮古市役所	安全な地域づくり	
67	・市役所近くにある防波堤は、県で嵩上げを考えていたが、防波堤を嵩上げできず今日まできた。ただ、あそこを守ったら波は藤原にいったと思う。だから、両岸を同時に整備しなければいけない。		宮古市役所	安全な地域づくり	
68	・地震だけではなく、台風なども含めた災害に強いまちを、これからどうつくっていくかを考えるべき。		宮古市役所	安全な地域づくり	
69	・消防団は、消防ポンプ車を公民館において仮事務所にしているが、担当エリアの広さがまちまちなので、消防の統廃合が必要。		宮古市役所	安全な地域づくり	
70	・宮古は小路が多い。幅の広い道路と、防潮堤の整備をお願いしたい。	・小路が多いという話だったが、地元の方のお話を伺いながら、避難経路の見直し等を考えていきたい。	宮古市役所	安全な地域づくり	

3 分野別意見等一覧  
 (安全な地域づくり：防災・消防)

No.	意見・質問内容	懇談会でのコメント(回答)	会場名	意見区分	備考
71	・避難訓練もっとやっていくべきではないかと思う。		宮古市役所	安全な地域づくり	
72	・堤防が機能していない。ただ乗せている。1㎡あたりに、どのくらいの力を耐えられるか知っているのか。これに嵩上げしてもしようがない。		宮古市役所	安全な地域づくり	
73	・防潮堤の内側に土手を造ったらいかがか。コンクリートだけでは無理があるので、土手を作って、防潮堤そのものも強くなる。		宮古市役所	安全な地域づくり	
74	・震災当時、みんなで声を掛け合った。隣組というのが大事である。市民1人1人が防災の意識を持っていることが大事だと思う。	・隣近所が声掛けをするということは非常に大切だと思う。	宮古市役所	安全な地域づくり	
75	・避難場所が遠い。遠くの避難所よりも、近くの高台と提案もしたが、決められた場所にいかなければ何ももらえない。	・避難場所について、近くの高台というものぜひ考えていきたい。	宮古市役所	安全な地域づくり	
76	・避難場所について、無線機を確保しておくべきではないか。救急セットについても、各避難所に備蓄していただきたい。	・現在避難所は46箇所、無線機については、配置されていない避難所が多い。そのあたりも設置を検討する。	宮古市役所	安全な地域づくり	